

# 日本体育大学

## 令和8年度入学者選抜 【出題の意図・模範解答】

学部・選抜方式	体育・スポーツ文化・スポーツマネジメント学部 総合型選抜 トップアスリート方式 10月
科目	小論文

### 【出題の意図】

- ・アスリートに求められる「競技力」と「人間性」をどのように理解しているかを確認し、スポーツ経験を社会的価値へと結びつけて考える力を評価するため。
- ・自身の経験から得た学びを、努力・協働・規律・挑戦などの普遍的価値として整理し、それを社会でどう活かせるか論理的に説明する力を測るため。
- ・600～800字の文章の中で、具体例と抽象的な説明を組み合わせ、一貫した構成で表現する文章力・思考力を確認するため。
- ・体験の羅列ではなく、スポーツを通して得た人間的成長を自ら言語化する資質を見極めるため。

### 【模範解答】

現代社会においてアスリートが競技力を高めることは重要であるが、それと同等に、人間性を涵養する「アスリートマインド」の形成が求められている。それは、単に競技で勝利を目指す姿勢ではなく、困難に向きあう姿勢、仲間を尊重する態度、規律を守る精神、挑戦を続ける意志といった、社会において普遍的に価値を持つ資質を指す。私は、アスリートマインドは競技の世界にとどまらず、社会を支える重要な基盤であると考えている。

第一に、アスリートマインドは困難に向きあう力として社会で機能する。競技では敗北や挫折は避けられないが、そこから課題を抽出し、再挑戦する反省力と継続力が成長の源である。この姿勢は、ビジネスや地域活動などの場面でも求められ、変化の激しい現代社会において価値が高い。

第二に、アスリートマインドは他者への敬意と協働を促す力をもつ。対戦相手を尊重し、審判の判定を受け入れ、仲間と協力する経験は、異なる価値観をもつ他者と共に生きる社会の基盤となる。これらは徳倫理が重視する「人格の成熟」に通じ、勝敗だけでなく人間としての成長を重視する姿勢である。

第三に、アスリートマインドは公正さや規範意識を社会に広げる役割を担う。ルール遵守、フェアプレー、ドーピングを拒否する態度は、スポーツだけでなく、社会の信頼関係構築に不可欠である。倫理的に見れば、これは義務論的な「正しい行為」を優先する態度と一致しており、社会全体の健全性の維持に寄与する。

以上のように、アスリートマインドは競技力を支える基盤であると同時に、社会の課題に向きあい、他者と協働し、公正な社会を築くための力である。その醸成は、アスリートがスポーツを超えた社会の一員として成長し、人々を勇気づけ、社会の活力に貢献するために欠かせない。私は、アスリートマインドは個人の競技力向上を超え、社会全体の価値を高めるものであると考えている。